

# 札幌市下水道ビジョン 2020(案)等の報告について

作成	建設局下水道河川部	資料
提出	平成 23 年 3 月 16 日	下-2-1

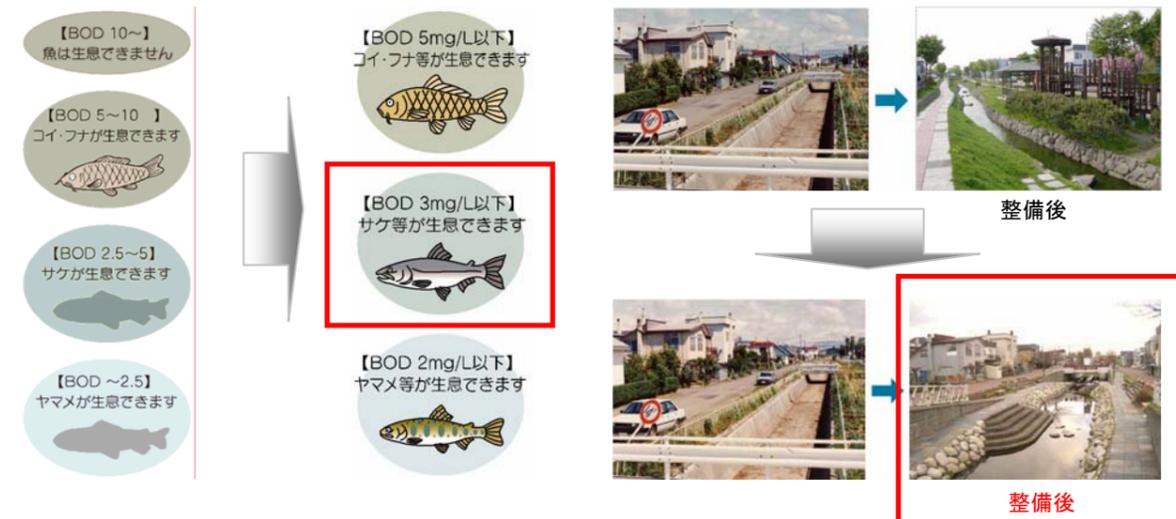
## 1 策定経緯

### ○ H22.11.17 第2回市営企業調査審議会(下水道部会)

・下水道ビジョン 2020 (案) を説明

<審議会での意見を踏まえ下記の点を修正>

- ① サケの生息できる水質を 3mg/L 以下に修正      ② 安春川の状況写真を同一箇所からのものに修正



### ○ H22.12.14 市長・副市長会議に下水道ビジョン 2020 の策定を付議

・ビジョンについては、原案どおり了承。

<次期経営プラン策定に当たっての関係部局の意見>

- ① 経営の効率化（民間活用など）に努めること。
- ② 施設の改築事業について平準化・低廉化を図ること。

### ○ H22.12.16 下水道モニター連絡会議にてビジョン(案)を説明

・H22 下水道モニター（48 名）からビジョンに対する意見を募集

### ○ H23.02.10 市議会(建設委員会)にビジョン(案)を報告

・原案どおり了承。（意見なし）

### ○ H23.01.28～H23.02.28 パブリックコメントを実施



モニター連絡会議の様子

## 2 パブリックコメントの実施結果

- 寄せられた意見数      32 名 ⇒ 75 件      （うち、H22 モニター意見 17 名⇒ 37 件）
- 意見の種類      ・計画全般 2 件      ・整備状況に関するもの 2 件      ・目標設定に関するもの 1 件  
                           ・施策に関するもの 54 件      ・広報活動に関するもの 12 件      ・進行管理 4 件

## ○ 主な意見（計画修正に反映）

- ・普及率 99.7%でほとんどの市民が下水道を利用していると述べているが、市民 100%を目標とするべき、下水道を夢見ている地域があることを忘れないで次世代へつないでもらいたい。
- ・P40 の企業債残高の圧縮は、元利償還と借り換えによる利子の縮減が原因だと思う。こういった内部努力を表現しても良いのではないか。
- ・施策目標の「資源の有効利用」は、明確にするため「下水道資源の有効利用」とすべき。
- ・サイクルコスト最小の図は、一目では派生する効果が理解しづらい。
- ・P40 の財務体質の強化について、内部留保資金の原資、企業債の買い手、雨水・汚水の負担割合などについて説明があった方が良い。
- ・「受益者負担」という表現は、普段使わない言葉だと思う。

※ 詳細は、別冊資料参照

## 3 ビジョン 2020 の周知

- H23.3 下旬      市長決裁により決定
- H23.3 末      市民向け『概要版』を作成
- H23.4 中旬～   『本書』および『概要版』の一般周知

<周知方法>

ホームページ公開および希望者への配布

<配布場所>

本庁舎ロビー、下水道庁舎、下水道科学館、各区役所など



## 4 中期経営プラン 2015 の策定について

- ◆ ビジョンの実現に向け、5 年間(H23～H27)の具体的な行動計画となる『札幌市下水道事業中期経営プラン 2015』を策定中
- ◆ 現在、事業内容・事業規模・経営効率化策の大枠の整理について関係部局で調整を行っている。

<スケジュール概略>

